

幼児教育・保育の無償化の対象とならない 多様な集団活動等への支援の在り方について

令和2年2月3日

文部科学省

趣旨

3歳以上の小学校就学前の幼児は、親しい人間関係の下で営まれる家庭生活から離れて、同年代の幼児や多様な大人との集団的な関わり合いの中で必要な体験を積み重ねることで、自立的な生活態度が培われていく。また、幼児の保護者も、家庭から離れた幼児の姿を見たり、他の保護者と関わり合う中で成長し、家庭での生活や教育がより良いものとなっていく。

幼稚園や保育所、認定こども園に通っておらず家庭で育児されている幼児であっても、こうした様々な遊びや生活体験を中心とする地域コミュニティにおける草の根の集団活動に定期的に参画している実態があり、教育的見地から地域にとって重要な役割を果たすものとして自治体が支援を行っている場合もある。こうした地域の取組に関する先導的な支援方策を調査し、取組の質の向上に資するとともに、国と地方が協力した支援の在り方を明らかにする。

事業内容

幼稚園や保育所、認定こども園に通っていない満3歳以上の小学校就学前の幼児を対象に、自然体験、様々な遊びや生活体験を通じた集団的な活動を行う施設等に対して支援を行っている自治体に対して、それらの施設等の支援の方策に関する調査を委託。

文部科学省

- ・子どもの安全等の観点から、支援対象施設等が遵守すべき最低限の基準等の設定（人員配置、施設設備、安全管理等）
- ・各都道府県・市町村が支援している施設等の取組状況や支援策、質の向上状況等について事例収集



国と地方が協力した効果的な支援の在り方に関する検討

委託

都道府県・市町村

振興・支援方策例

- ・地域にとって重要な役割を果たす施設等に関する認証等の仕組みを創設した上で、当該認証等を受けた施設や取組に対する支援を実施
- ・認可施設への移行に向けた計画等の策定を支援するとともに、併せて当該施設や取組に対する支援を実施
- ・支援を行った施設等の活動内容や運営状況を収集し、地域における教育振興上の役割や認可施設への移行にあたっての課題等を調査するとともに、質の向上状況等について把握・検証

支援（ ）

地域における多様な集団活動等

取組例

- ・人口急増期に団地の有志で創設した幼児施設
- ・地域の神社・寺・教会等が地域の子ども達を集めて集団的活動を行う施設
- ・地域の豊かな自然を活かし、自然体験活動を中心とした活動を行う取組

各施設等において教育的見地から活動計画を策定するとともに、自治体の認証基準等を遵守



自治体からの支援を受け、取組の充実や、保護者の利用料負担の軽減につなげる。

() 幼児教育・保育の無償化との二重給付にならないよう支援